性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査結果

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ
株式会社LIXIL

報告会実施日：2016年4月4日（2016年11月18日資料改訂）

※4月4日に開催した「性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査 結果報告会」の抜粋資料を一部改訂しました。
※図中の色分けについては、分かりやすくするための便宜上のものです。型にはめたり多様性を無視するといった意図はありません。

LIXIL Link to Good Living

NIJIIRO DIVERSITY 特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ

Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

アンケートの背景と目的

背景

国内における多方面からの配慮検討

・行動指針の多様性テーマにLGBTを含める企業の増加。
・文科省より教育現場での配慮指針が出された（2015年4月）。
・各自治体での条例制定等の動きが見られる。
・建築現場におけるトイレのLGBT配慮に関する問い合わせの増加。

トイレの配慮に関する情報の少なさ

LGBT配慮の中でも、職場や学校において最も大切な場所のひとつである「トイレ」については言及されないことも多く、情報もほとんど無い状況。

東京オリンピック・パラリンピック

・東京五輪開催まであと4年。
・職場や学校に限らず、商業施設なども含めた「パブリックトイレ」※1全般について、いままでの配慮※2に加え“グローバル視点での配慮”も検討する必要あり。
・「外国人配慮」だけでなく、「LGBT配慮」も考えていく必要あり。

※1. パブリックトイレ：オフィスや商業施設、交通施設等の公共の場におけるトイレのこと。
※2.「女性配慮」「男性配慮」「お子さま連れ配慮」「バリアフリー配慮」

目的

LGBTなどの性的マイノリティの「学校や職場、公共の場でのトイレ利用」について現状を把握し、課題を調べる。また、その結果を参考に、より多くの方が使いやすいトイレづくりのために役立てることを最終目的として実施した。

※無断転載を禁止いたします。

アンケート調査概要

アンケート依頼フォーム例（Twitter画面）

虹色ダイバーシティ
@nijidiversity
フォロー

【拡散希望】性的マイノリティのトイレ問題に関するアンケート調査を実施中！是非ご協力を。トイレに関する体験談やあなたの理想のトイレをお聞かせください。特にトイレに困っていない人も是非！
jp.surveymonkey.com/r/lgbt_toilet

調査概要

- **調査方法**：ウェブ上のアンケートフォーム（Survey Monkey 有料版／虹色ダイバーシティより配信）
- **調査対象**：日本在住の10代以上の性的マイノリティ当事者の方
- **配信方法**：虹色ダイバーシティのTwitter、Facebook、mixi および当事者団体のメーリングリスト等で周知
- **総回答数**：624人
- **実施期間**：2015年11月24日(火)～同年12月24日(木)の計31日間
- NPO法人虹色ダイバーシティと株式会社LIXILとの共同実施であったが、トイレメーカーから受ける先入観を排除するためLIXIL名は伏せて実施。

用語解説

性別などに関する言葉

身体の性別

生物学的、解剖学的な身体の性別のこと。

性的指向

どのような性別の人を好きになるか？ということ。

性自認

身体の性別にかかわらず、**自分の性別についてどう認識しているか？**ということ。
男性・女性だけでなく、中性、決めたくないなど**さまざま**。

性表現

自己の外見、服装などにおいて**性別をどう表現するか？**ということ。女性的、男性的、どちらでもないなど**さまざま**。

トランスジェンダーに関する言葉 <トイレについて考える際、重要な言葉>

FTM

Female to Male

出生時の身体的性別は女性だが、心（性自認）は男性という人。
トランス男性ともいう。

MTF

Male to Female

出生時の身体的性別は男性だが、心（性自認）は女性という人。
トランス女性ともいう。

パス度

周囲からどの程度性自認に沿って認識されているかを示す度合。
“パス度が高い、低い”などと言う。

社会生活上重要な要素となっている。

Xジェンダー

男女の枠にとらわれない性のあり方の人。男女どちらでもなかったり、女でもあったり男でもあったり、中性だったり様々である。
FTM・MTFという表現に沿って、**FTX・MTX**ということも。

※Female：女性、Male：男性

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

「セクシュアリティ分類」

※分かりやすくするために、便宜上色分けをしています。

出生時(戸籍)	性自認	シス／トランス	性的指向	セクシュアリティ分類※	当事者／非当事者
女性	女性	シスジェンダー	女性	シス女性(L)	当事者
			男性	シス女性(S)	非当事者
			両性+問わない	シス女性(B)	当事者
			該当なし+その他	シス女性(その他)	
	男性	トランスジェンダー	ー※※	FTM	
	Xジェンダー・中性・無性など	トランスジェンダー	ー※※	FTX	
男性	女性	トランスジェンダー	ー※※	MTF	当事者
	男性	シスジェンダー	女性	シス男性(S)	非当事者
			男性	シス男性(G)	当事者
			両性+問わない	シス男性(B)	
			該当なし+その他	シス男性(その他)	
	Xジェンダー・中性・無性など	トランスジェンダー	ー※※	MTX	

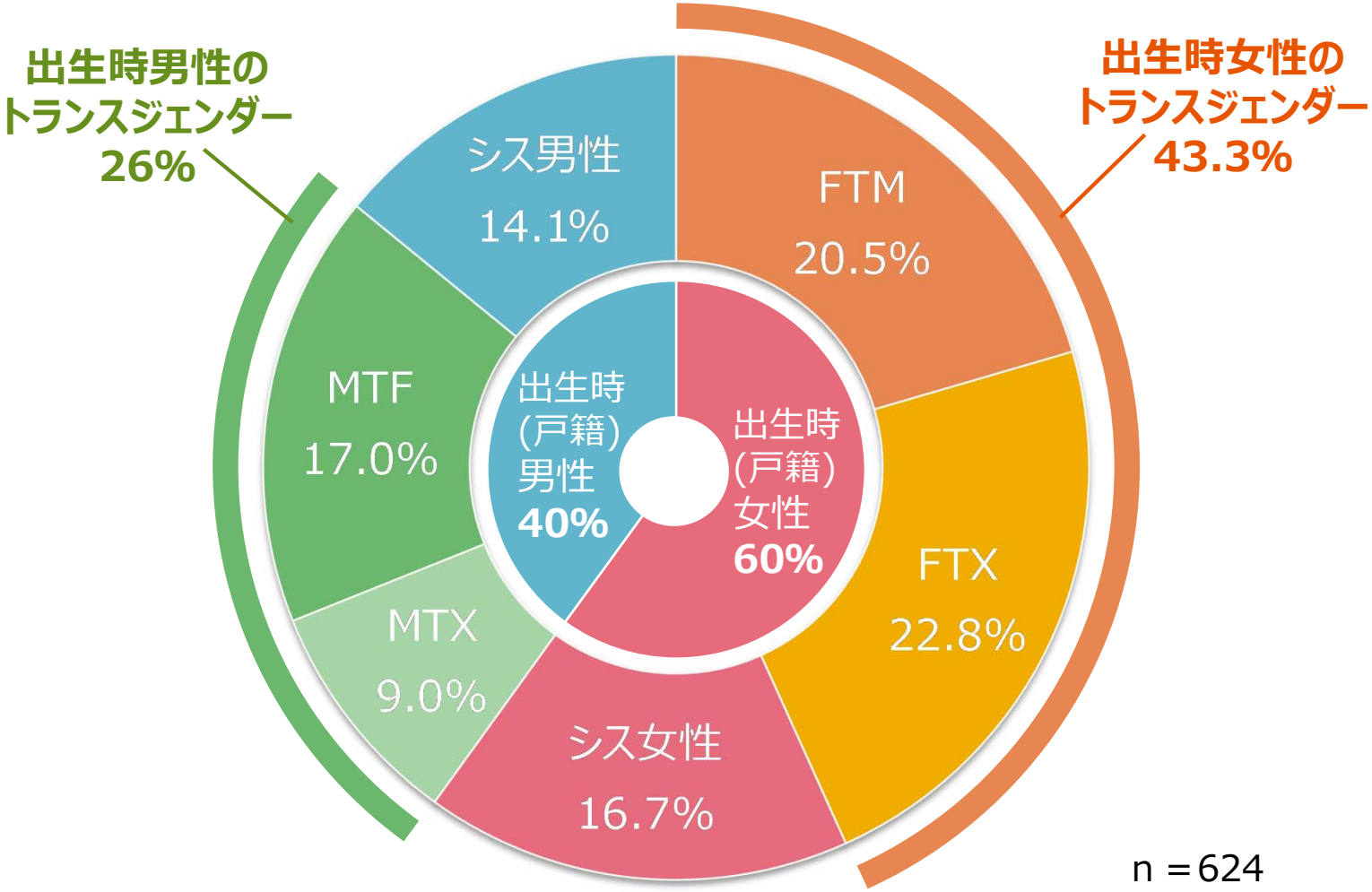
※L：レズビアン, S：ストレート, B：バイセクシュアル, FTM：Female To Male, FTX：Female To X-gender　MTF：Male To Female, MTX：Male To X-gender 。なお、「非当事者」である“シス女性(S)” および“シス男性(S)”は、本アンケート対象外となります。

※セクシュアリティ分類の「その他」はLGBT以外の性的マイノリティを指す。

※トランスジェンダーには、同性愛者、バイセクシュアルなど様々な性的指向を含む。

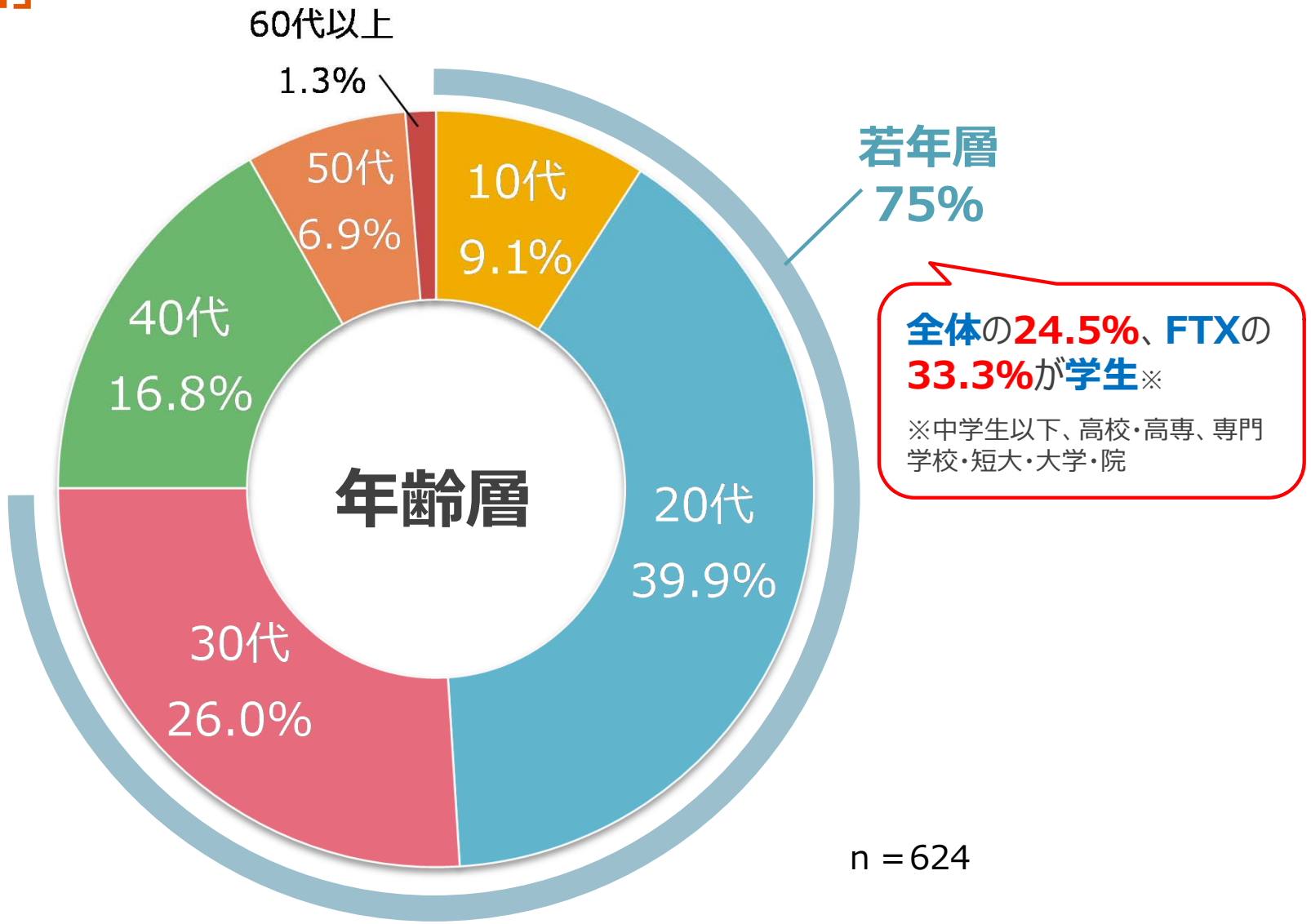
※※当プロジェクトの目的はトイレについての調査であり、トイレの選択には性的指向よりも性自認が大きく影響するのではないかとの想定で、分析上の分類を行っています。統計処理のためにある程度の母数が必要ということもあり、今回は性的指向別の分析は行っておりません。

回答者の「ジェンダー比率」



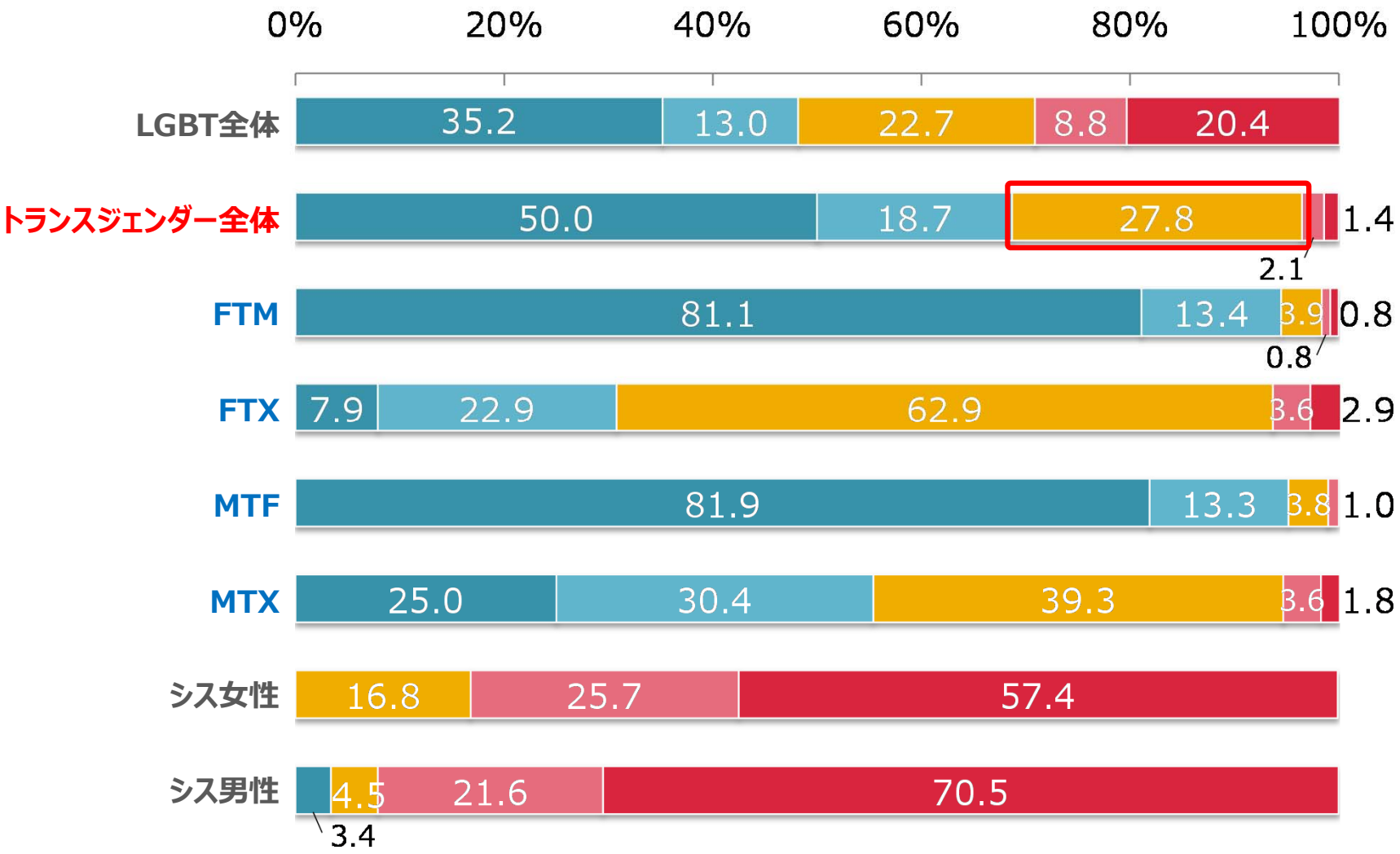
出生時の戸籍＝女性が60%を占めており、中でもFTXが22.8%と最多

回答者の「年齢層」



10～30代の若年層が75%、中でも20代が約4割を占める

回答者の「見られたい性別」 ～Q.あなたご自身はどの性別に見られたいですか？（出生時の戸籍や出生届けと比較して）



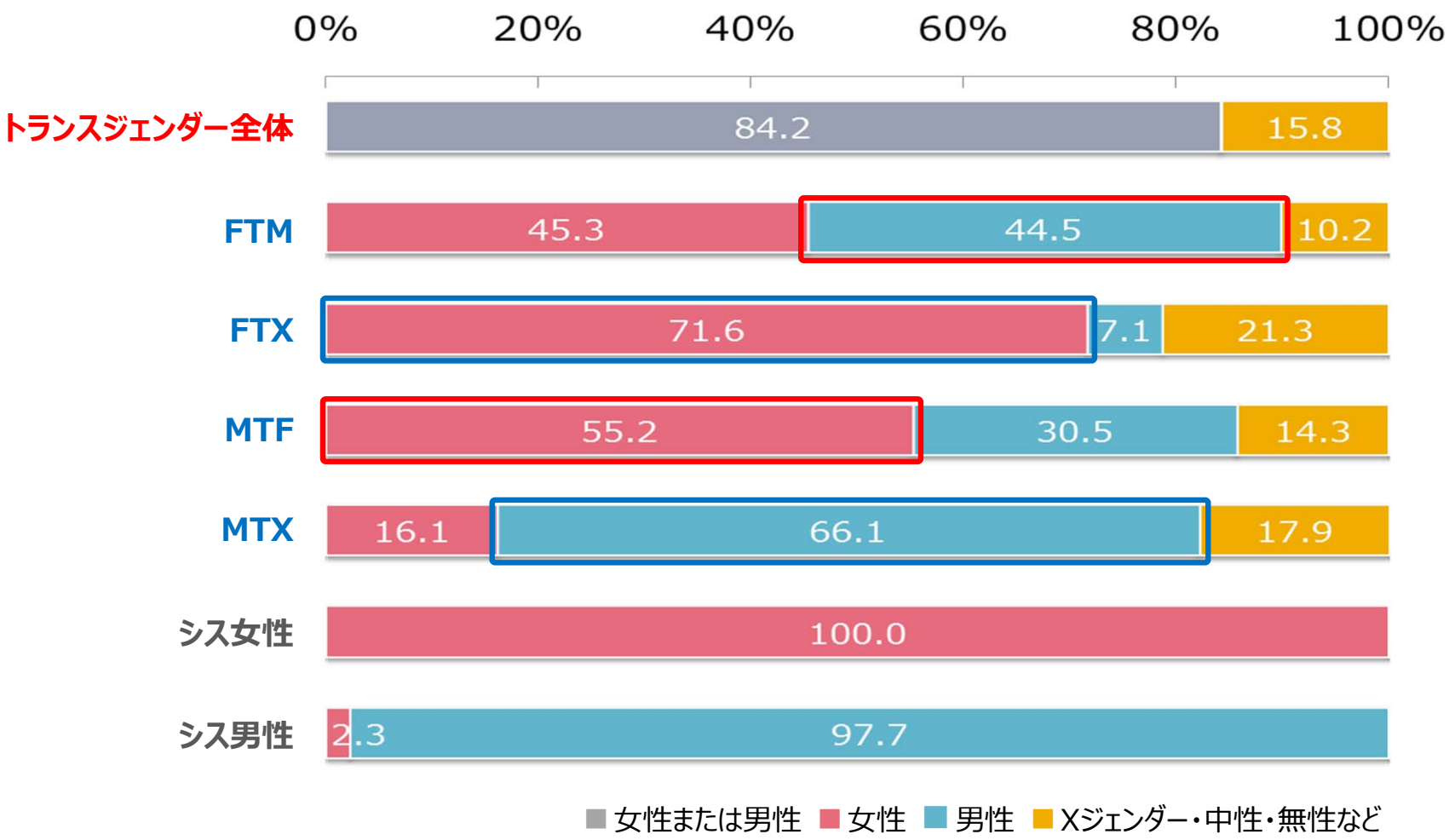
■出生時と異なる性別 ■どちらかと言えば出生時と異なる性別 ■どちらでもない・中性 ■どちらかと言えば出生時と同じ性別 ■出生時と同じ性別

トランスジェンダーの約3割が「どちらでもない・中性」を選択

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値】LGBT全体：624、トランスジェンダー全体：432、FTM：128、FTX：142、MTF：106、MTX：56、シス女性：104、シス男性：88

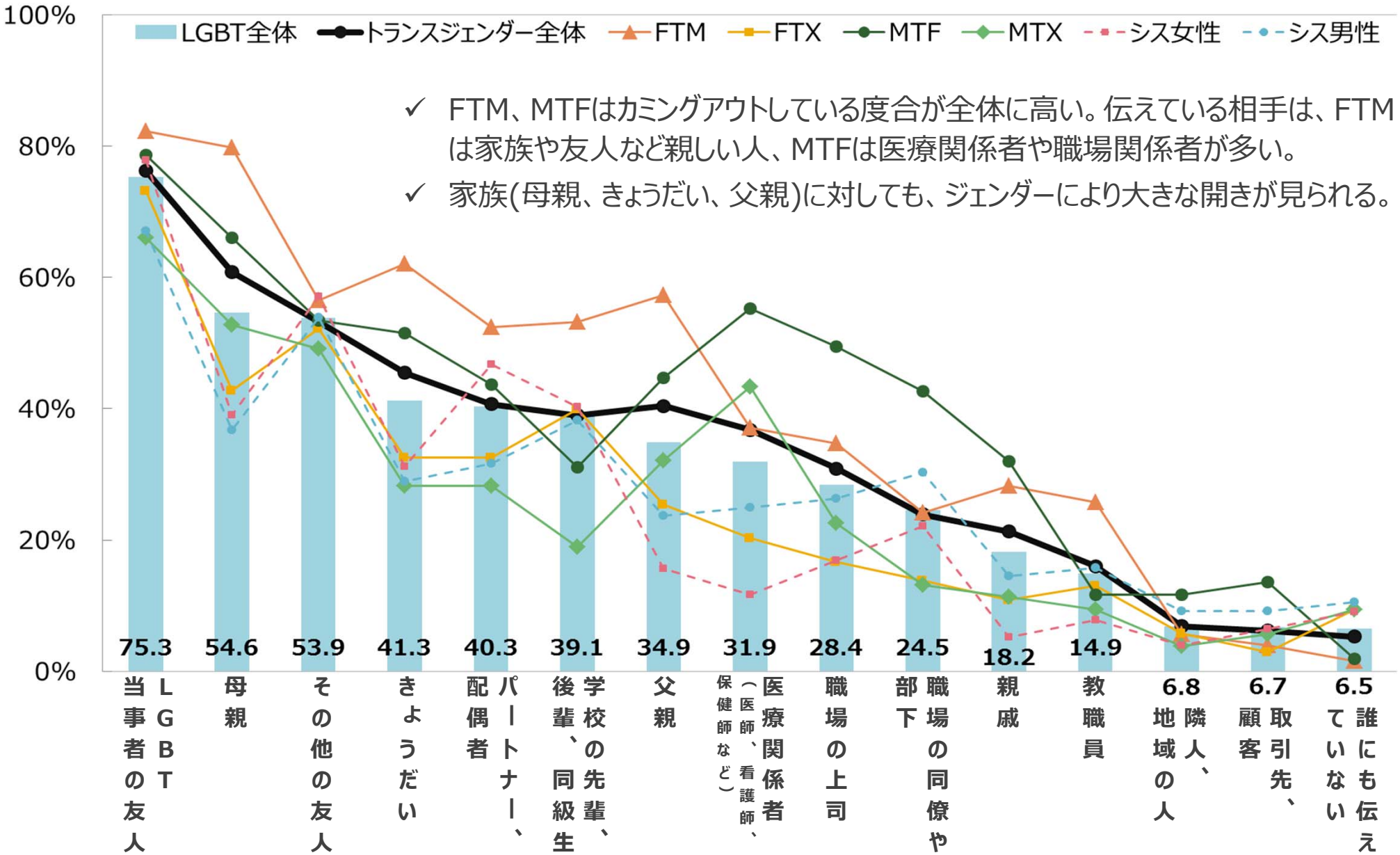
回答者の「社会的性別」 ～Q.現在、学校や職場でどの性別として生活していますか？



- ✓ FTMの半数近く、MTFの過半数は自認の性別で生活している。
- ✓ Xジェンダーは約7割が出生時の性別で生活している。

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。
【n値】トランスジェンダー全体：430、FTM：128、FTX：141、MTF：105、MTX：56、シス女性：102、シス男性：88

回答者の「カミングアウト状況」(複数回答)※自身が性的マイノリティであることを誰に伝えているか？

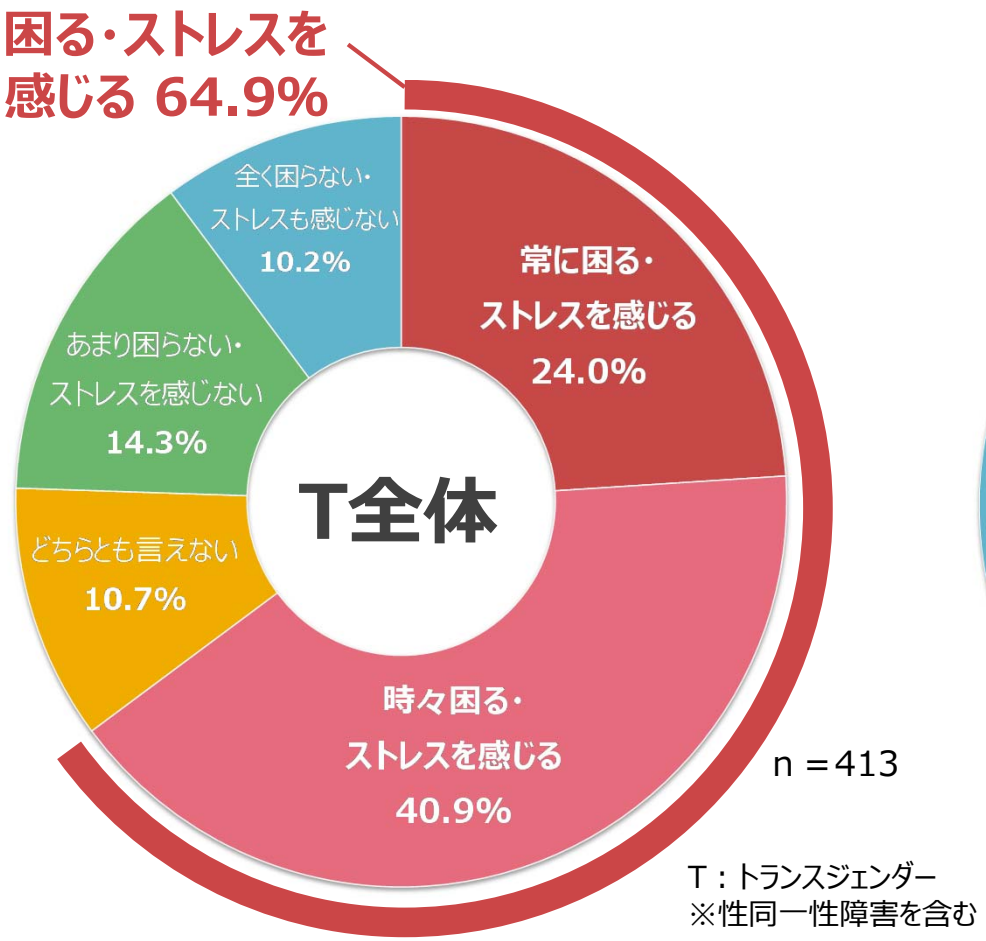


- ✓ FTM、MTFはカミングアウトしている度合が全体に高い。伝えている相手は、FTMは家族や友人など親しい人、MTFは医療関係者や職場関係者が多い。
- ✓ 家族(母親、きょうだい、父親)に対しても、ジェンダーにより大きな開きが見られる。

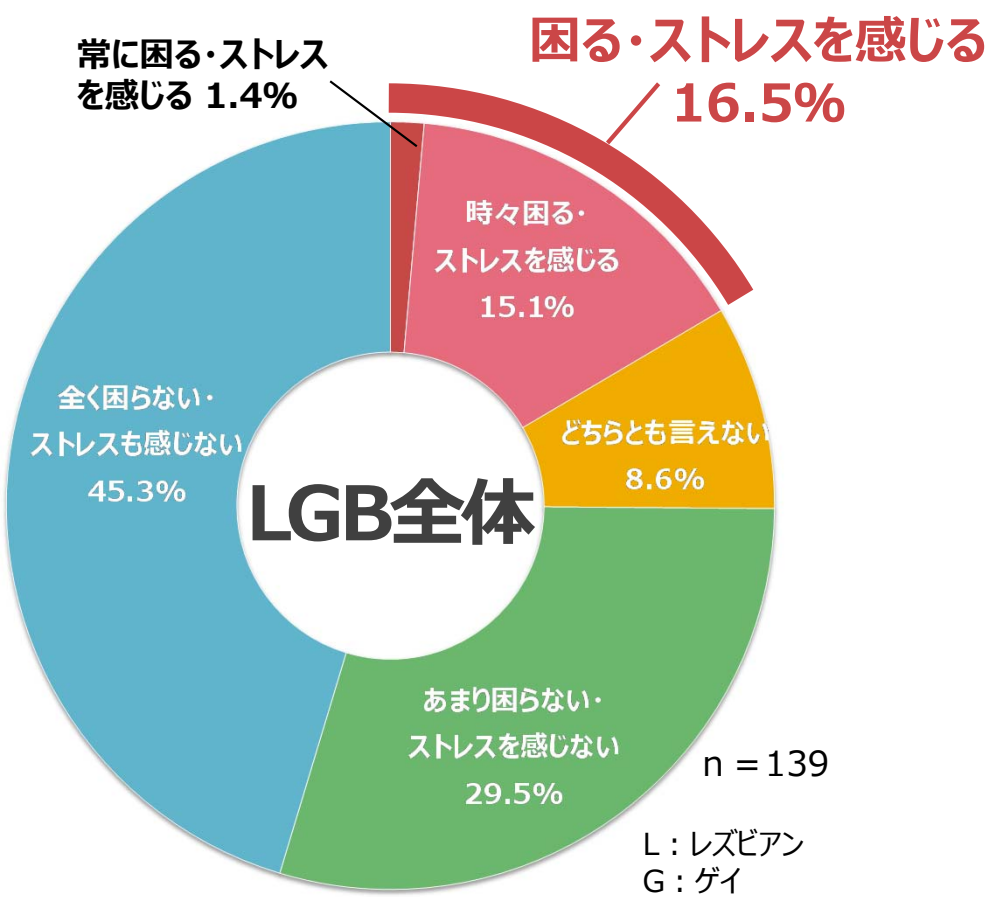
2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値】LGBT全体：571、トランスジェンダー全体：418、FTM：124、FTX：138、MTF：103、MTX：53、シス女性：77、シス男性：76

Q. 職場や学校のトイレ利用で困る・ストレスを感じることはありますか？



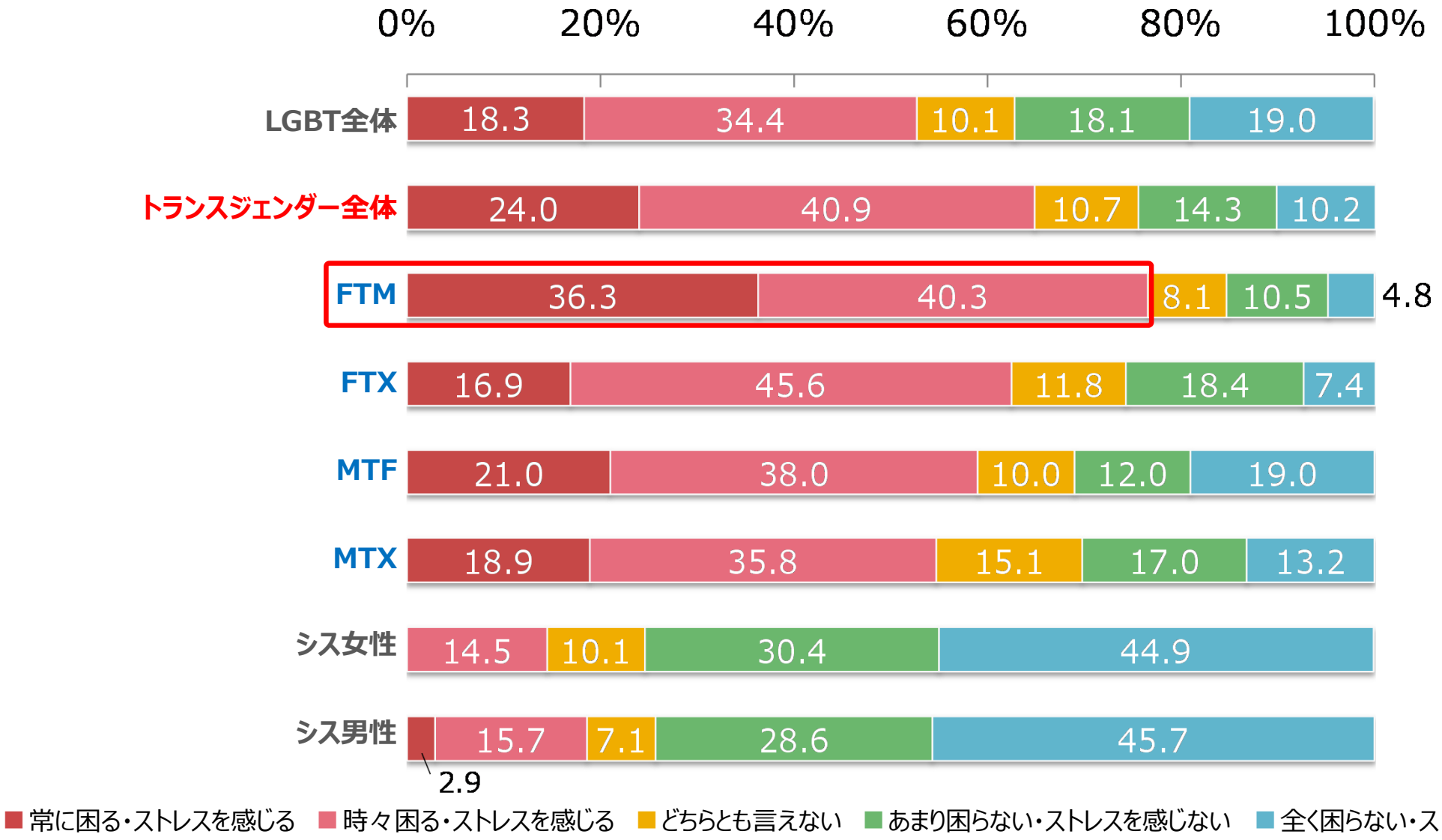
T：トランスジェンダー
※性同一性障害を含む



L：レズビアン
G：ゲイ
B：バイセクシャアル

トランスジェンダーの約65%、LGBの16.5%が困る・ストレスを感じる、と回答。

Q. 職場や学校のトイレ利用で困る・ストレスを感じることは？～ジェンダー別～

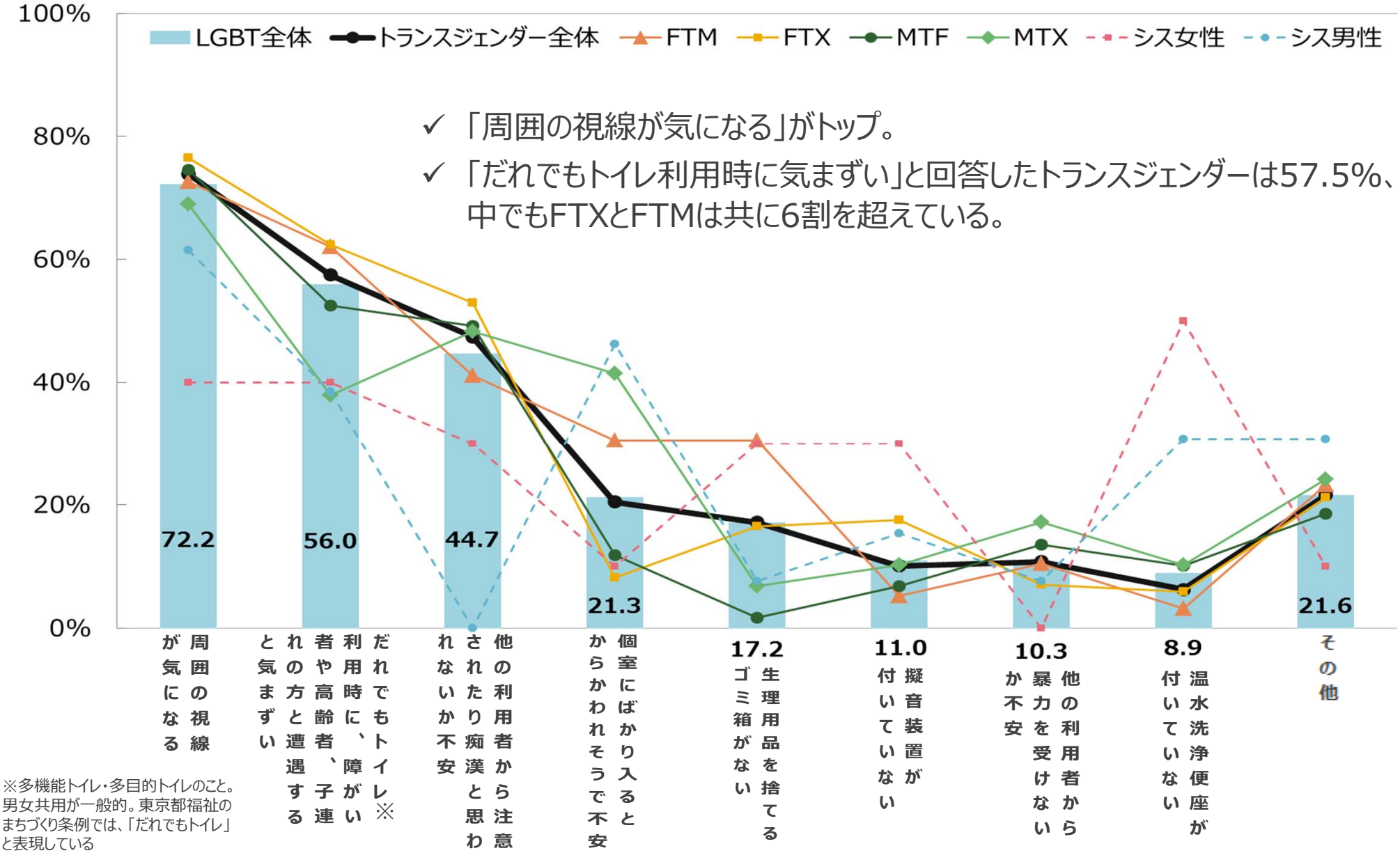


困る・ストレスを感じていると回答した割合は、FTMが76.6%と最も高い

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値】LGBT全体：552、トランスジェンダー全体：413、FTM：124、FTX：136、MTF：100、MTX：53、シス女性：69、シス男性：70

Q. 職場や学校のトイレ利用で困る・ストレスを感じる理由は？



✓ 「周囲の視線が気になる」がトップ。

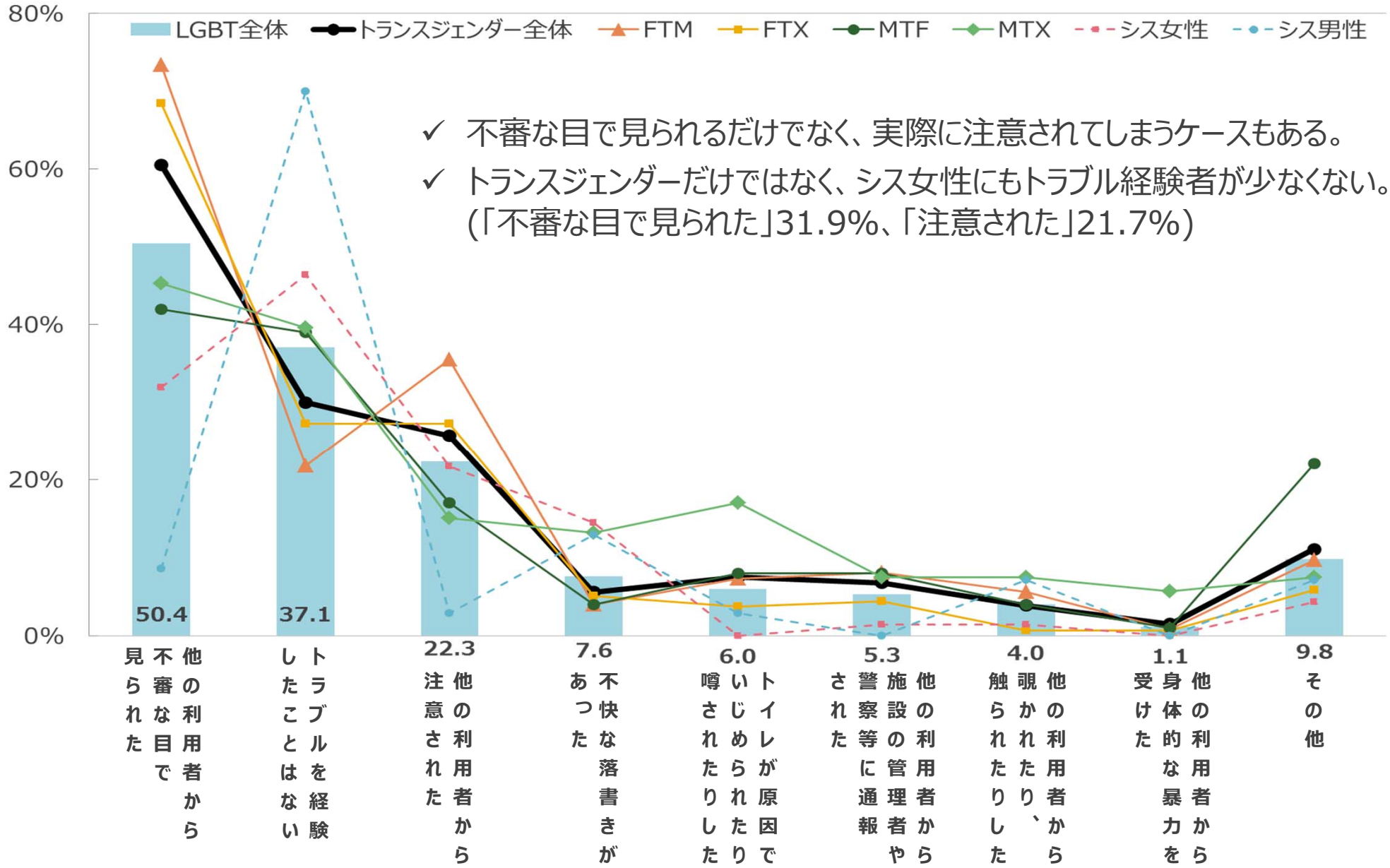
✓ 「だれでもトイレ利用時に気まずい」と回答したトランスジェンダーは57.5%、中でもFTXとFTMは共に6割を超えている。

※多機能トイレ・多目的トイレのこと。男女共用が一般的。東京都福祉のまちづくり条例では、「だれでもトイレ」と表現している

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値】LGBT全体：291、トランスジェンダー全体：268、FTM：95、FTX：85、MTF：59、MTX：29、シス女性：10、シス男性：13
（n30未満は参考値）

Q. 職場や学校、公共施設のトイレで、実際に経験したトラブルは？



✓ 不審な目で見られるだけでなく、実際に注意されてしまうケースもある。

✓ トランスジェンダーだけではなく、シス女性にもトラブル経験者が少なくない。
(「不審な目で見られた」31.9%、「注意された」21.7%)

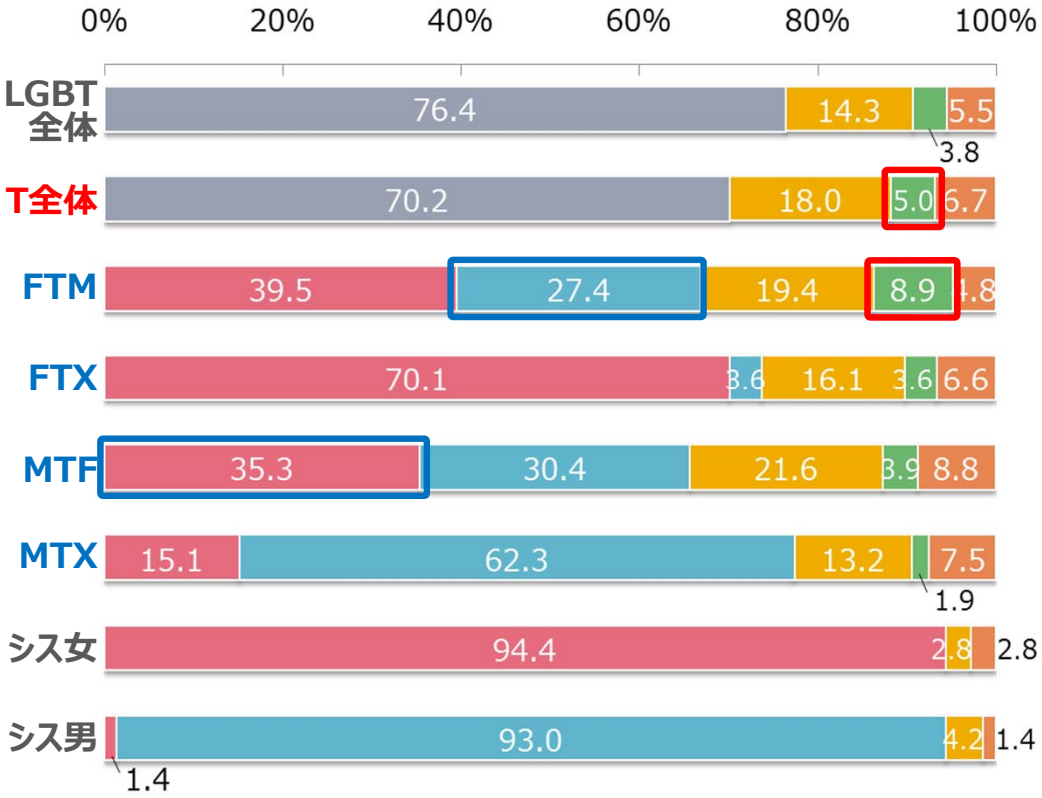
2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値】LGBT全体：552、トランスジェンダー全体：413、FTM：124、FTX：136、MTF：100、MTX：53、シス女性：69、シス男性：70

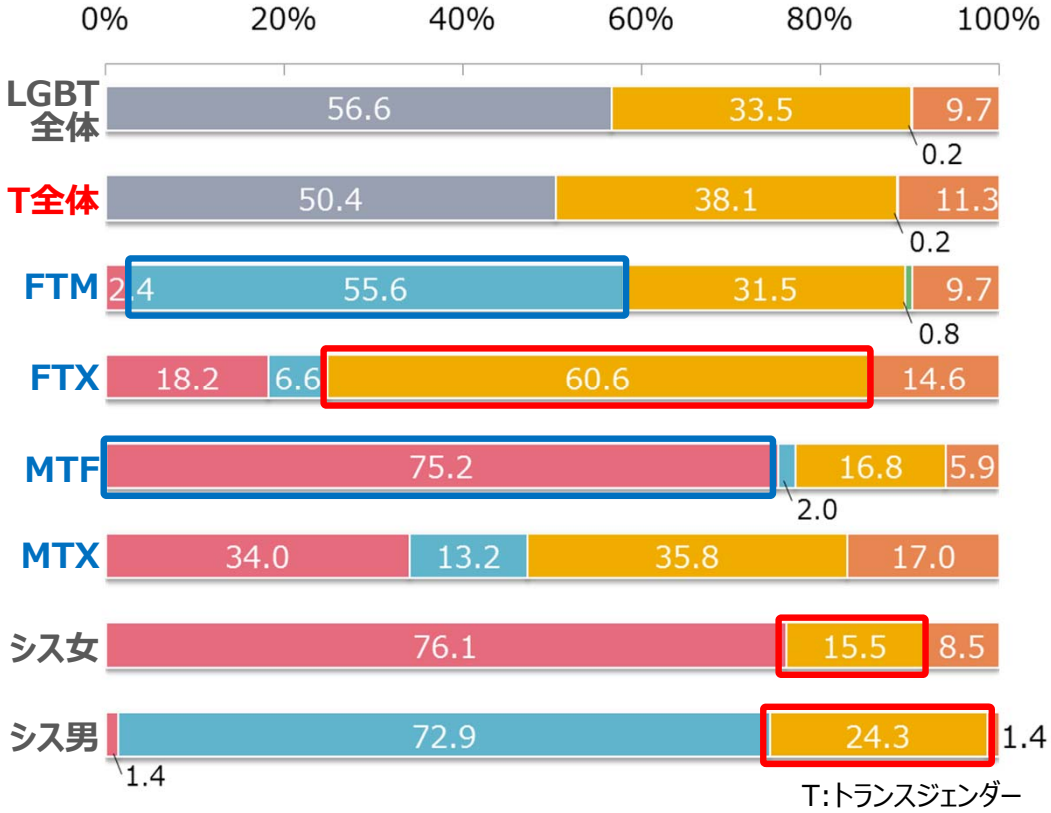
Q. 職場・学校でのトイレ利用 ～現実と希望は？～

※吹き出しの文章は、回答者のプライバシー保護のため、大意を変えずに原文を要約・加工しています。

現在どのトイレを使っていますか？



自由に選べるなら、どのトイレを使いたいですか？



■男女別トイレ ■女性用トイレ ■男性用トイレ ■だれでもトイレ ■どれも使わない（我慢する） ■その他(共用トイレなど)

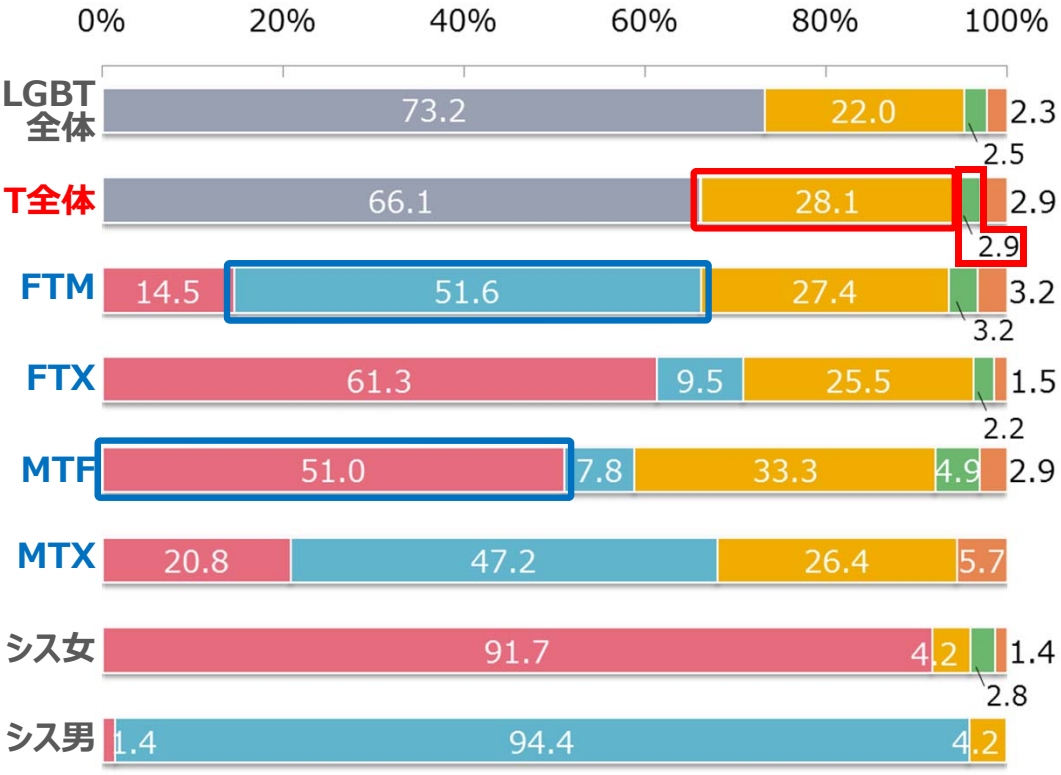
- ✓ FTMの過半数、MTFの約75%が「自認の性別トイレ」を希望。現実と希望に顕著な差異が見られる。
- ✓ 「だれでもトイレ」のニーズが高い。FTXの希望者は6割以上と最多。LGB(シス女性・シス男性)にも希望者がいる。
- ✓ トランスジェンダー全体の5%、FTMの約9%がどれも使わず我慢。

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

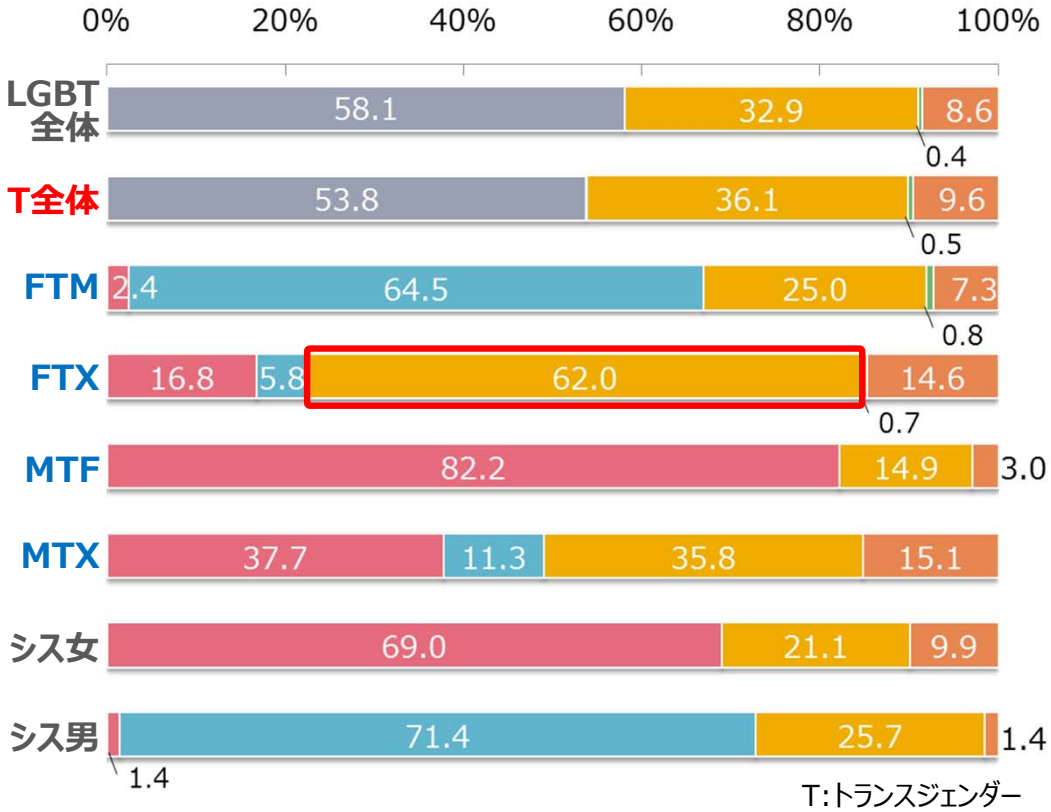
【n値/現実】LGBT全体：559、T(トランスジェンダー)全体：416、FTM：124、FTX：137、MTF：102、MTX：53、シス女：72、シス男：71
【n値/希望】LGBT全体：556、T(トランスジェンダー)全体：415、FTM：124、FTX：137、MTF：101、MTX：53、シス女：71、シス男：70

Q. 公共施設でのトイレ利用 ～現実と希望は？～

現在どのトイレを使っていますか？



自由に選べるなら、どのトイレを使いたいですか？



T:トランスジェンダー

■男女別トイレ ■女性用トイレ ■男性用トイレ ■だれでもトイレ ■どれも使わない（我慢する） ■その他(共用トイレなど)

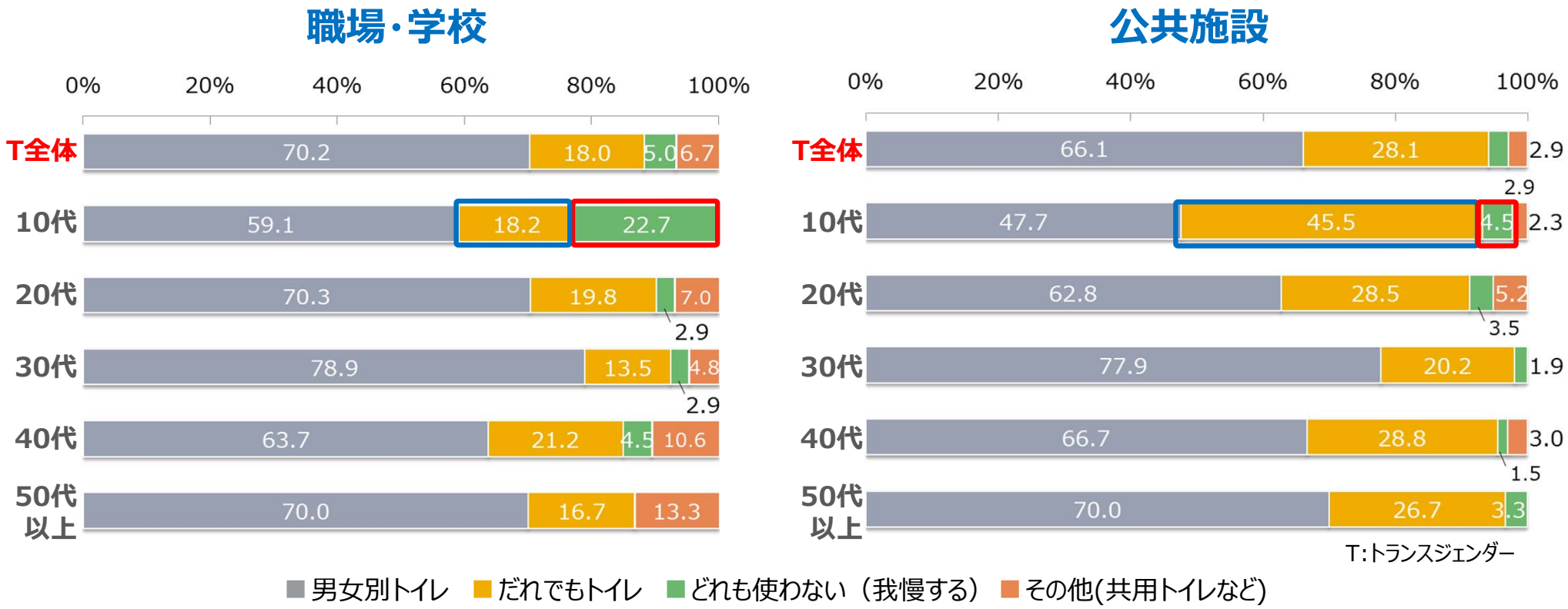
- ✓ FTM・MTFは、過半数が「自認の性別トイレ」を実際に利用。
- ✓ 「だれでもトイレ」は、トランスジェンダー全体の約3割が利用。希望は、職場・学校同様FTXが6割以上で最多。
- ✓ 公共施設のトイレで我慢する人は、トランスジェンダー全体で3%未満。

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値/現実】LGBT全体：559、T(トランスジェンダー)全体：416、FTM：124、FTX：137、MTF：102、MTX：53、シス女：72、シス男：71

【n値/希望】LGBT全体：556、T(トランスジェンダー)全体：415、FTM：124、FTX：137、MTF：101、MTX：53、シス女：71、シス男：70

Q. どのトイレを使っていますか？ ～トランスジェンダー年代別～

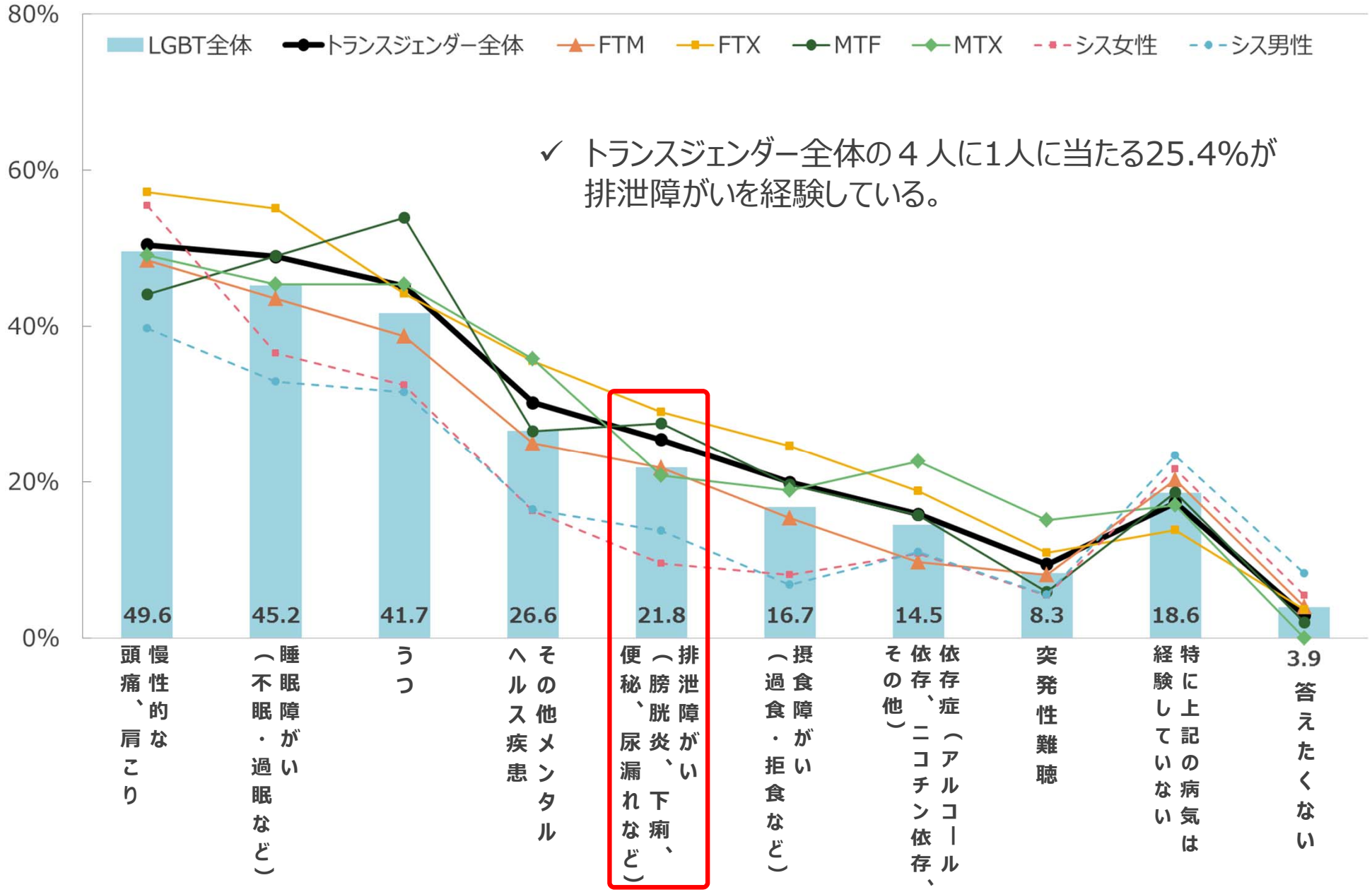


- ✓ 職場・学校では、10代トランスジェンダーの2割以上が「我慢する」と回答。
- ✓ 公共施設では、我慢する人は減少傾向。
  10代は5%未満と大幅減、反面だれでもトイレの利用が半数近くに。

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値】T(トランスジェンダー)全体：416、10代：44、20代：172、30代：104、40代：66、50代代以上：30

Q. あなたが経験したことのある病気は？（複数回答）

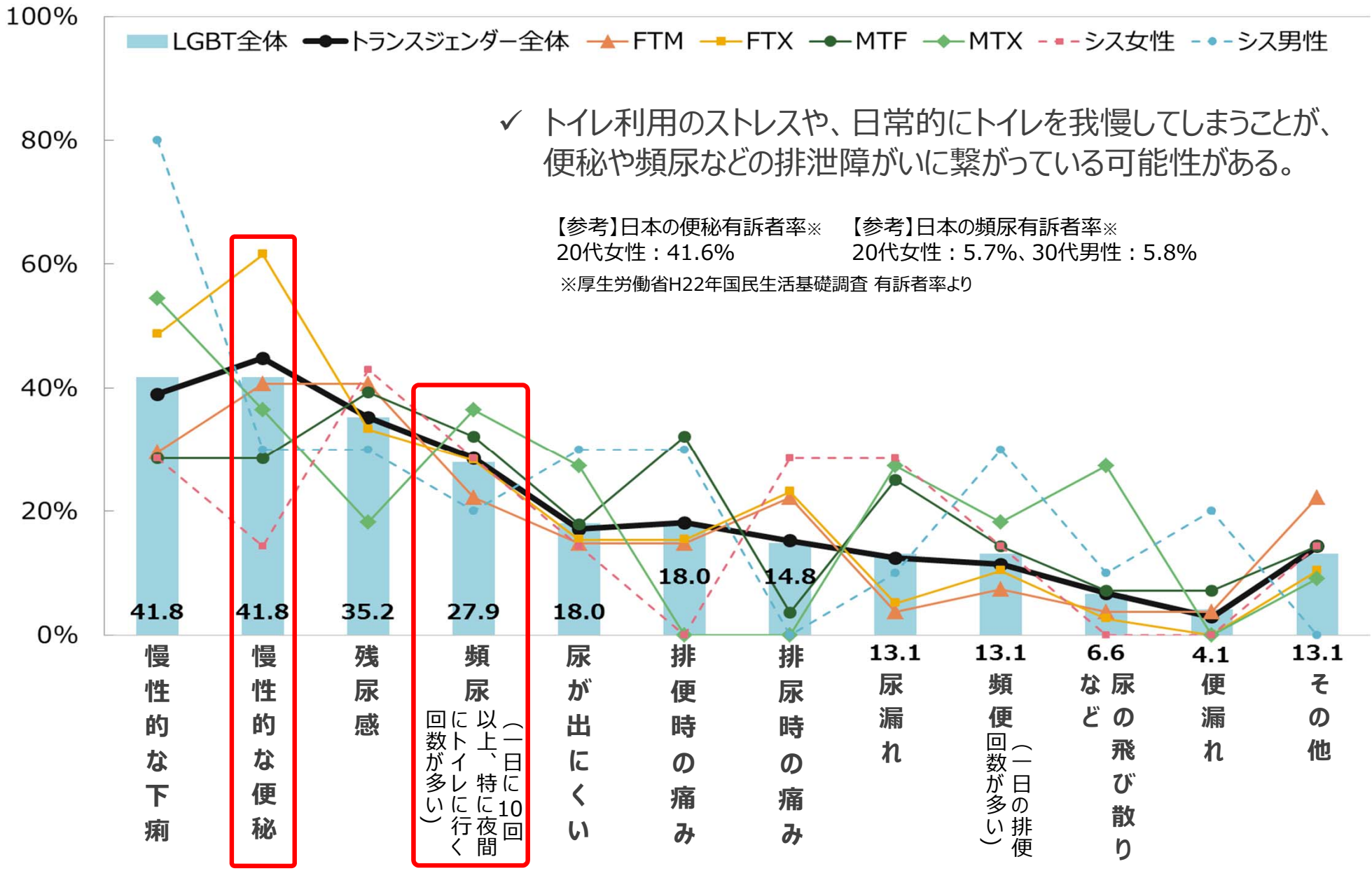


✓ トランスジェンダー全体の４人に1人に当たる25.4%が排泄障がいを経験している。

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値】LGBT全体：564、トランスジェンダー全体：417、FTM：124、FTX：138、MTF：102、MTX：53、シス女性：74、シス男性：73

Q. 排泄障がいとは、どのような症状ですか？（複数回答）



✓ トイレ利用のストレスや、日常的にトイレを我慢してしまうことが、便秘や頻尿などの排泄障がいに繋がっている可能性がある。

【参考】日本の便秘有訴者率※
20代女性：41.6%

【参考】日本の頻尿有訴者率※
20代女性：5.7%、30代男性：5.8%

※厚生労働省H22年国民生活基礎調査 有訴者率より

2015年 性的マイノリティのトイレ問題に関するWEB調査（LIXIL、虹色ダイバーシティ）※無断転載を禁止いたします。

【n値】LGBT全体：122、トランスジェンダー全体：105、FTM：27、FTX：39、MTF：28、MTX：11、シス女性：7、シス男性：10
（n30未満は参考値）

LIXIL
Link to Good Living

NIJIIRO DIVERSITY
特定非営利活動法人
虹色ダイバーシティ